

令和6年度第3回鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会
次第

日時:令和7年2月21日(金)

午前10時から正午まで

会場:県立図書館2階 大研修室

1 あいさつ

2 議題

(1)報告事項

ア 読書バリアフリー推進に係る令和6年度の取組について

イ 読書バリアフリー推進に係る令和7年度の取組計画について

ウ その他

(2)協議事項

ア 「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」
改訂について

イ その他

令和6年度第3回鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会

配布資料一覧

- 資料1 協議会委員一覧
- 資料2 鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会開催要領
- 資料3 読書バリアフリー推進に係る令和6年度事業報告(鳥取県立図書館)
- 資料4 令和6年度視覚障がい者等の読書バリアフリー環境整備促進事業の実施状況について(鳥取県障がい福祉課)
- 資料5 令和6年度読書バリアフリー環境整備推進事業について(鳥取県ライトハウス点字図書館)
- 資料6 鳥取県障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画指標
- 資料7 読書バリアフリー推進に係る令和7年度の取組(鳥取県立図書館)
- 資料8 令和7年度視覚障がい者等の読書バリアフリー関連予算要求状況について(鳥取県障がい福祉課)
- 資料9 令和7年度読書バリアフリー環境整備推進事業について(鳥取県ライトハウス点字図書館)
- 資料10 鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画の改訂について
- 資料11 鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画第2期構成(目次)案
- 資料12 鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画第2期構成(目次)案(図)
- 資料13 鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画第1期・第2期対照表

鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会 委員

R7.2.21現在

No.	区分	団体名	職名	委員氏名
1	学識経験者 (議長)	日本図書館協会障害者サービス委員会	委員長	佐藤 聖一
		埼玉県立久喜図書館	司書主幹	
2	公立図書館・ 図書館行政	倉吉市立図書館	館長	田村 美香
3	点字図書館	社会福祉法人鳥取県ライトハウス 点字図書館	情報支援員	遠藤 崇仁
4	特別支援学校	鳥取県立鳥取盲学校	教諭	三橋 朋子
5		鳥取県立米子養護学校	教諭	黒田 里理
6	音訳・点訳 実施団体	桑の実会	代表	小森 智恵美
7		音訳ボランティアグループありんこ	代表	廣谷 静枝
8	出版団体 (電子書籍)	株式会社 今井書店グループ	代表取締役社長	島 秀佳
9	身体障がい者団体	社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会	会長	山根 裕
10		鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会	副会長	藤原 美江子
11	発達障がい者団体	NPO法人鳥取県自閉症協会	理事	小松 しのぶ
12	視覚障がい者団体	公益社団法人鳥取県視覚障害者福祉協会	会長	市川 正明
13	視覚障がい者団体 (ロービジョン)	鳥取県見えにくい人を考える会	副会長	谷口 慎二
		鳥取県網膜色素変性症当事者の会	会長	
14	高齢者団体	公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会	会長	岡森 裕
15	障がい福祉行政	鳥取市福祉部障がい福祉課	課長	枘谷 承文

事務局	鳥取県教育委員会事務局図書館
事務局	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課
事務局	鳥取県子ども家庭部子ども発達支援課
事務局	鳥取県教育委員会事務局特別支援教育課

鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会開催要領

(趣旨)

第1条 この要領は、鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画に基づく、鳥取県の読書バリアフリー推進事業等の取組状況等について、事業等の評価や進行に関する有識者等の意見を聴取することを目的として開催する鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会（以下「関係者協議会」という。）の運営について、必要な事項を定めるものである。

(意見を求める事項)

第2条 関係者協議会は、鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画に基づく、読書バリアフリー推進事業等の取組状況等について、専門的見地等に基づく意見を聴取する。

(構成員)

第3条 関係者協議会は、意見を求める事項に関して知識又は経験を有する者のうちから鳥取県立図書館長が依頼した者（以下「委員」という。）により構成する。

(議長)

第4条 関係者協議会に議長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 議長は会議の進行を務めるものとし、議長に事故のあるときは、あらかじめその指名する委員が代理する。

(会議)

第5条 関係者協議会は、鳥取県立図書館長が必要に応じて招集し、開催する。

2 鳥取県立図書館長は、必要があると認めるときは、関係者協議会に委員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第6条 関係者協議会の庶務は、鳥取県立図書館において行う。

(雑則)

第7条 この要領に定めるもののほか、関係者協議会の運営等に関して必要な事項は、鳥取県立図書館長が別に定める。

附 則

この要領は、令和3年9月13日から施行する。

読書バリアフリー推進に係る令和6年度事業報告

令和7年2月21日
鳥取県立図書館

I アクセシブルな資料等の収集及び利用状況について(令和6年12月末現在)

(1) 所蔵状況について

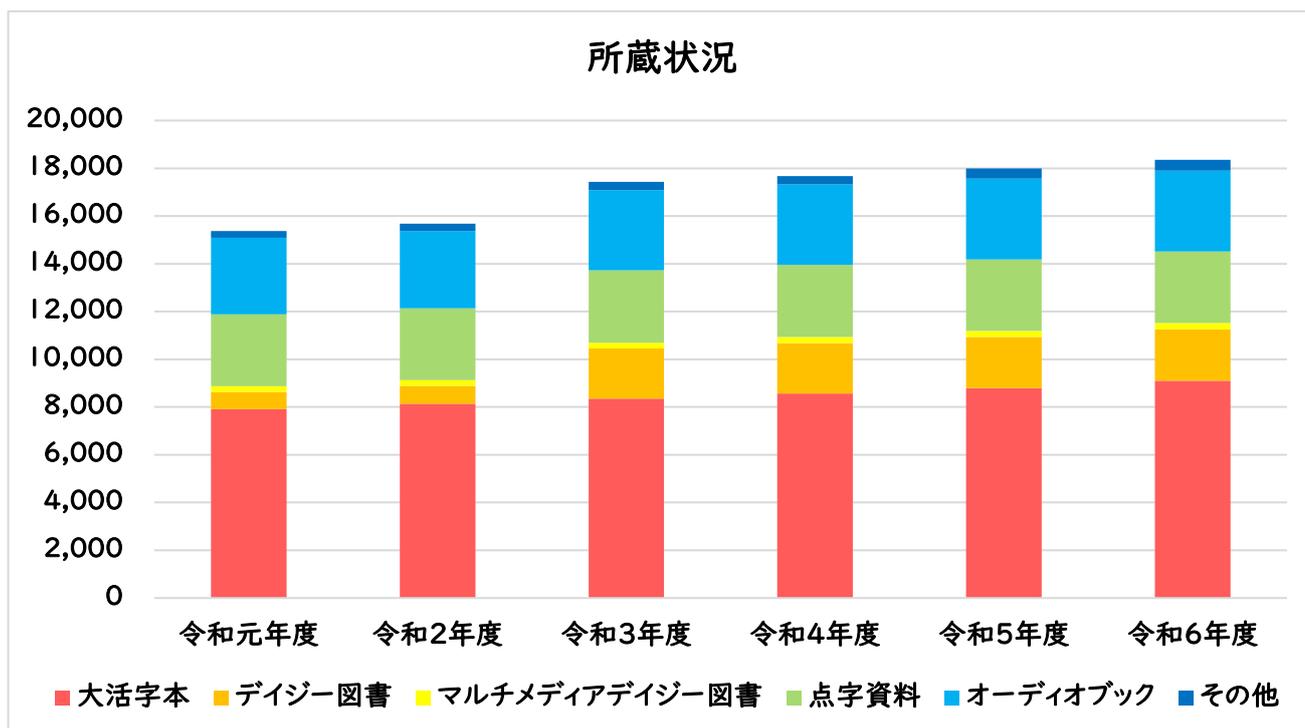
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	15,379 (633)	15,676 (297)	17,428 (1,752)	17,674 (246)	17,995 (285)	18,349 (147)
大活字本	7,916 (547)	8,132 (216)	8,348 (216)	8,563 (215)	8,791 (197)	9,104 (106)
デイジー図書	722 (7)	756 (34)	2,108 (1,352)	2,117 (9)	2,141 (28)	2,151 (10)
マルチメディア デイジー図書	231 (18)	237 (6)	243 (6)	247 (4)	256 (9)	260 (4)
点字資料	3,014 (7)	3,017 (3)	3,023 (6)	3,029 (6)	2,996 (5)	3,000 (4)
オーディオブック	3,209 (40)	3,226 (17)	3,364 (138)	3,367 (3)	3,381 (14)	3,389 (8)
その他	287 (14)	308 (21)	342 (34)	351 (9)	430 (32)	445 (15)

※()は受入数

※令和5年度中にデイジー4点除籍、点字資料38点除籍

※令和4年度以前に受入していたが計上していなかった資料:大活字本32点、その他資料47点

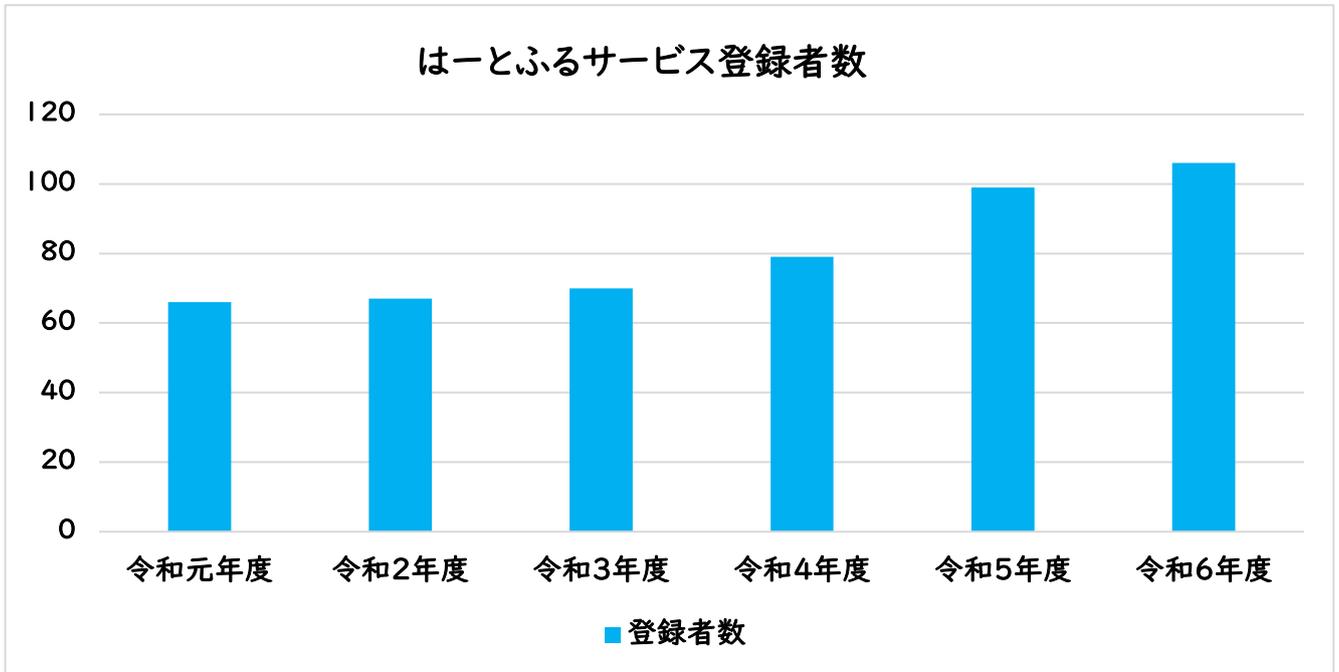
※平成27年度以前に受入していたが計上していなかった資料:大活字本208点



(2) 利用状況について

ア はーとふるサービス新規登録者数 7 名 (はーとふるサービス登録者数 計 106 名)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全登録者数	66	67	70	79	99	106
新規登録者数	3	1	3	9	20	7



【登録者内訳:居住別】

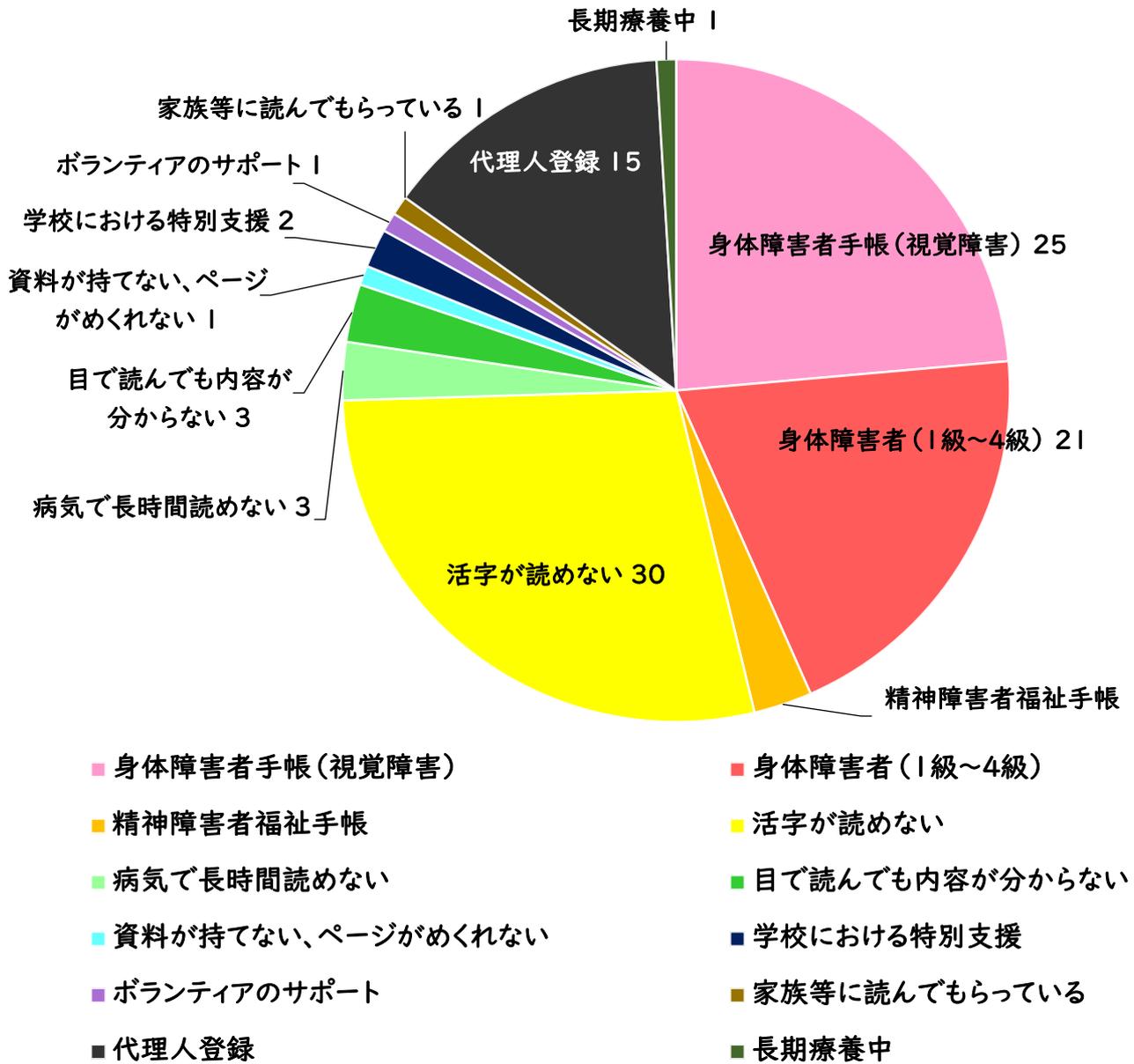
鳥取市 99 名 (7 名)、米子市 1 名、倉吉市 1 名、八頭郡 4 名、岩美郡 1 名 計 106 名

※ () は令和6年度登録者

【登録者内訳:障がい種別】

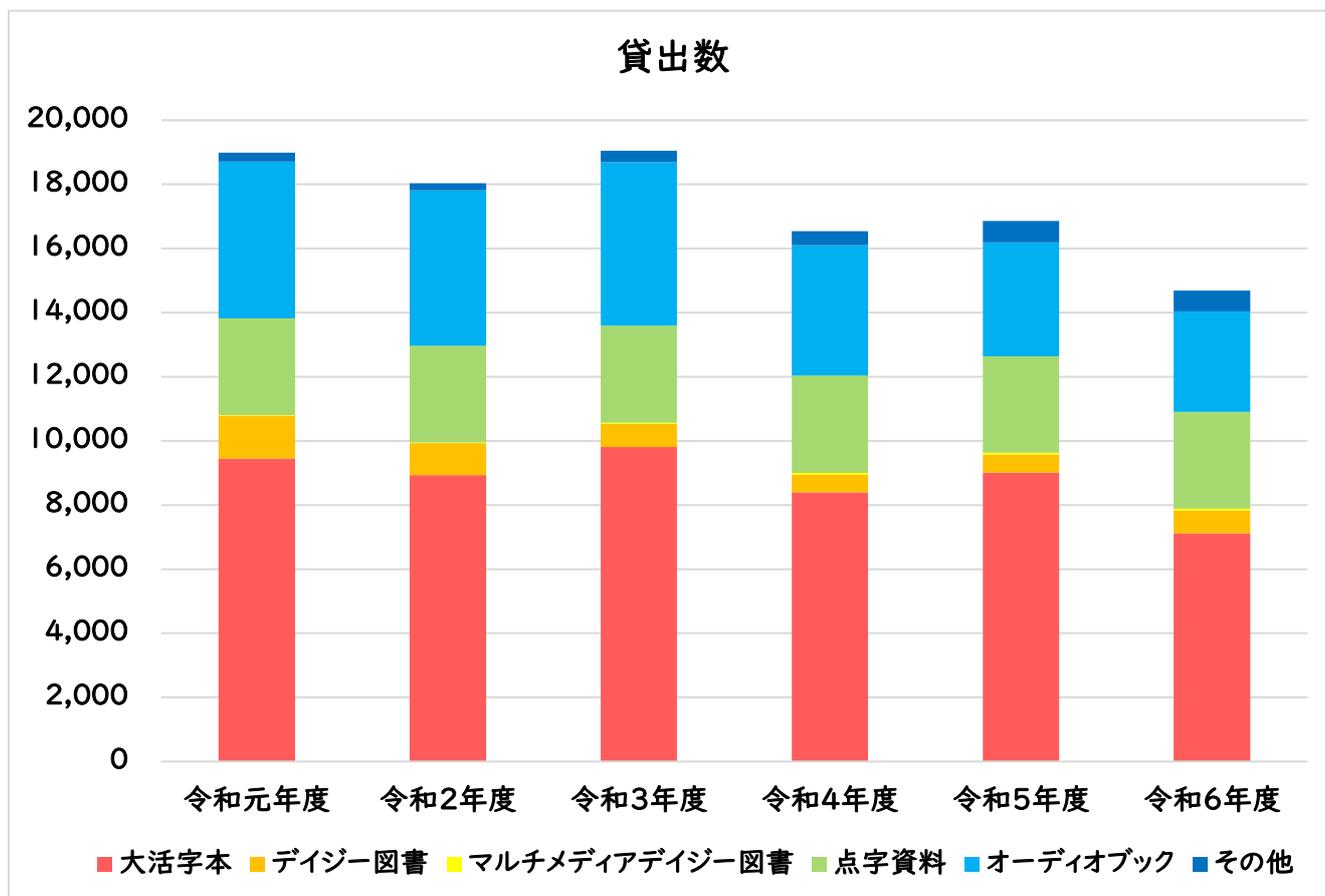
	障がいの区分	人数
1	身体障害者手帳(視覚障害)	25
2	身体障害者(1級~4級)	21
3	精神障害者福祉手帳	3
4	活字が読めない	30
5	病気で長時間読めない	3
6	目で読んでも内容が分からない	3
7	資料が持てない、ページがめくれない	1
8	学校における特別支援	2
9	ボランティアのサポート	1
10	家族等に読んでもらっている	1
11	代理人登録	15
12	長期療養中	1
	合計	106

はーとふるサービス登録者内訳



イ 貸出数 14,683 点(令和6年度)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	18,987	18,033	19,047	16,541	16,858	14,683
大活字本	9,446	8,931	9,810	8,390	9,007	7,117
デージー図書	1,335	995	711	548	561	708
マルチメディア デージー図書	19	20	41	63	66	66
点字資料	3,016	3,020	3,029	3,039	2,999	3,008
オーディオブック	4,896	4,850	5,095	4,065	3,562	3,144
その他	275	217	361	436	663	640



(3) はーとふるサービスの充実について

ア わかりやすい館内案内標示の整備(今年度実施予定)

イ わかりやすい版がん情報パンフレット配架

ウ 機器の整備

・拡大読書器:1台(予定)

・デジター図書再生機「ポケブック VineC1」:1台

・リーディングループ:16個

・リーディングトラッカー:27個

2 鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会の開催

第1回(7月22日)、第2回(11月29日)、第3回(2月21日)

3 研修・講座・イベント等の実施

(1) 図書館・学校関係者対象

7月31日 第29回鳥取県図書館大会

第2分科会「読書バリアフリーについて考える～必要とする人に適切な方法で～」

(主催:鳥取県図書館協会)

11月28日 第3回図書館業務専門講座

「情報アクセシビリティ すべての人に必要な情報が届く社会を実現するために」

(主催:鳥取県立図書館)

(2) 特別支援学校生徒対象

1月20日 図書館活用講座:鳥取大学附属特別支援学校

2月5日(予定) 図書館活用講座:鳥取聾学校

(3) 県民対象

10月25日 はーとふる図書館ツアー(主催:鳥取県視覚障がい者東部支援センター)

3月7日(予定) バリアフリー映画上映会(主催:鳥取県立図書館)

定例開催 手話で楽しむおはなし会(毎月1回)(主催:鳥取県立図書館)

4 広報活動

(1) 啓発パネル貸出

実施館:公共図書館 5館、高等学校図書館 2館、特別支援学校図書館 1館 計8館

※今年度中に公共図書館1館、高等学校図書館1館が実施予定。

(2) 館内展示

3月1日～4月10日 「世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間」

12月2日～12月20日 「広げよう♪あいサポート運動」

3月(予定) バリアフリー映画関連・あいサポート関連展示

(3) メディア関係

12月24日 日本海新聞「図書館出合いの広場」

2月1日(予定) 山陰放送「キニナルとっとり」(県政テレビ)

(4) サービス説明

4月8日 LD等専門員連絡会(主催:鳥取県教育委員会特別支援教育課)

(5) 出前図書館の実施

5月8日 老人クラブ連合会理事会

- 7月27日、28日 子どものための福祉機器展(主催:鳥取県、鳥取県教育委員会)
- 10月26日 第54回中国四国肢体不自由児者父母の会連合会鳥取大会(併催:第59回鳥取県肢体不自由児者父母の大会)(主催:中国四国肢体不自由児者父母の会連合会、鳥取県肢体不自由児者父母の会連合会)
- 11月20日 鳥取県身体障がい者福祉大会(主催:鳥取県身体障害者福祉協会)
- 3月22日 ロービジョンフォーラム(主催:鳥取県)

5 市町村立図書館、県立学校等の状況把握・情報共有

アクセシブルな書籍等の所蔵数及び貸出点数等状況調査の実施

- 4月18日 高等学校図書館・特別支援学校図書館の利用等の状況調査
- 4月18日 鳥取県の図書館統計調査

6 関係機関・関係団体、市町村立図書館、特別支援学校図書館への訪問

(1) 関係機関・関係団体

- 6月12日 鳥取県視覚障がい者東部支援センター
- 6月20日 桑の実会
- 6月25日 鳥取県自閉症協会

(2) 特別支援学校

- 5月30日 皆生養護学校
- 6月6日 米子養護学校
- 6月21日 鳥取盲学校
- 7月5日 倉吉養護学校
- 7月9日 鳥取聾学校
- 11月6日 琴の浦高等特別支援学校
- 11月7日 白兔養護学校、鳥取養護学校、鳥取聾学校
- 11月8日 鳥取大学附属特別支援学校
- 12月3日 鳥取聾学校ひまわり分校
- 12月17日 倉吉養護学校

7 館内読書バリアフリー委員会の開催

毎月1回開催

8 職員のスキルアップのための研修の受講

- 7月1日～9月30日 2024年度障害者サービス担当職員養成講座(入門)(主催:日本図書館協会)
- 8月1日～9月30日 読書バリアフリー研究会特別研修
(主催:伊藤忠記念財団、国立国会図書館国際子ども図書館)
- 8月1日 ICTカフェ(主催:鳥取県視覚障がい者東部支援センター)
- 11月9日 鳥取県子ども読書アドバイザー研修会兼新規養成研修会(主催:鳥取県)
- 11月12日～14日 令和6年度障害者サービス担当職員向け講座
(主催:国立国会図書館、日本図書館協会)

- 11月20日 視覚障がい者の手引き
(主催:鳥取県ライトハウス点字図書館(視覚障がい者東部支援センター))
- 1月12日 マルチメディアデイジー普及ミニフォーラム
(主催:鳥取県ライトハウス点字図書館)
- 2月7日 気軽に筆談セミナー(主催:鳥取県)

9 講師派遣

- 6月12日 令和6年度図書館司書専門講座(主催:文部科学省、国立教育政策研究所)
- 8月23日 令和6年度図書館教育研究会夏季研修会(主催:鳥取県特別支援学校校長会)
- 12月5日 2024年度第2回中国四国ブロック音訳指導員養成講習会
(主催:全国視覚障害者情報提供施設協会 中国四国ブロック)

10 その他

【県内図書館の状況について】

(1)障がい者サービス利用登録実施館 ※19市町村中7館実施

鳥取県立図書館、鳥取市立図書館、倉吉市立図書館、米子市立図書館、境港市民図書館、
八頭町立図書館、南部町立図書館、大山町立図書館

(2)サピエ加入館 ※19市町村中9館加入

令和2年度以前に加入:鳥取県立図書館、倉吉市立図書館、八頭町立図書館、
日吉津村図書館、日野町立図書館

令和3年度加入:境港市民図書館 江府町立図書館

令和4年度加入:南部町立図書館、鳥取市立図書館

令和6年度加入:琴浦町図書館

(3)国立国会図書館視覚障がい者等用データ送信サービス

送信承認館

令和2年度加入:鳥取県立図書館

令和5年度加入:鳥取聾学校、鳥取盲学校、倉吉養護学校、鳥取養護学校、米子養護学校、
鳥取大学附属特別支援学校、日野町図書館

令和6年度加入:鳥取聾学校ひまわり分校、皆生養護学校、白兔養護学校、琴浦町図書館
倉吉市立図書館、米子市立図書館

データ提供館

令和6年度加入:倉吉市立図書館

令和6年度 視覚障がい者等の読書バリアフリー環境整備促進事業の実施状況について

令和7年2月21日
障がい福祉課

令和6年度も県内の読書バリアフリー環境を促進していくため、引き続き以下の事業を実施。

- 1 アクセシブルな書籍等の製作等による量的拡大
点字図書館運営費補助金を活用し、対応。
- 2 端末機器・ICT機器の使用等に係る研修会<予算額 242 千円>
 - ①視覚障がい者等向けに、ICT機器の使用等に関する研修を実施
 - ②発達障がい等の当事者、支援者向けにマルチメディアデジターの使用等に関する研修を実施
- 3 点訳・音訳ボランティア向けスキルアップ研修<予算額:125 千円>
点訳・音訳ボランティア団体に所属する者を対象に、点訳・音訳技術向上のため、外部から講師を招聘し、スキルアップ講座を開催(点訳・音訳それぞれ1回ずつ開催予定)
- 4 点字指導員資格認定講習会及び音訳指導員認定講習会への派遣<予算額:208 千円>
ライトハウス点字図書館の職員、点訳・音訳ボランティア活動に長年携わっている者を点字指導員資格認定講習会及び音訳指導員認定講習会へ派遣することで、県内の点訳・音訳奉仕員養成研修のレベルアップを図る。
- 5 ライトハウス点字図書館への情報支援員の1名継続配置<予算額:5,114 千円>
ライトハウス点字図書館に読書バリアフリー基本計画の推進に総括的に取り組む情報支援員を1名配置し、読書バリアフリー法に関連する以下の業務を行う。(令和3年度～)
 - ・県、市町村、関係団体等と連携した読書環境の整備に関する情報交換の実施
 - ・アクセシブルな書籍等の充実に向けた県立図書館及び市町村立図書館等との連携
 - ・学校図書館及び大学図書館と連携した視覚障がい等のある児童生徒学生の読書環境の保障に関する取組
 ・県立図書館及び市町村立図書館等と連携した、ICT機器を活用した視覚障がい者等への読書機会の提供
 - ・端末機器・ICT機器の使用等に係る研修会
 - ・点訳・音訳ボランティア向けスキルアップ研修
 - ・点字指導員資格認定講習会及び音訳指導員認定講習会への派遣 等
- 6 マルチメディアデジター図書普及啓発等のための設備整備及び人材育成<予算額:1,500 千円>
マルチメディアデジター図書を閲覧するためのタブレットを整備し、研修・貸し出し等を行いマルチメディアデジター普及啓発に努める。
また、図書作成のための機器を整備し、制作を行うとともに、制作ボランティアを養成する。
- 7 鳥取県視覚障がい者 ICT 機器購入費補助金<予算額:2,500千円>
視覚障がい者用タブレット、拡大読書器等の購入経費助成(補助率 1/2)する。
【令和6年度補助実績】10件、639,910円(R6.12月末時点)

8 その他

県立図書館、鳥取県ライトハウスとも連携し、県関連のイベント等において、読書バリアフリーに関する啓発を行う。

- ・ロビー相談窓口におけるつながるサロン、子どものための福祉機器展、あいサポート祭、ロビーセッション等

令和6年度読書バリアフリー環境整備推進事業について

令和7年2月21日

鳥取県ライトハウス点字図書館

令和6年度 取組実績

・公共図書館巡回

・公共図書館での催事

- 6月23日 倉吉市市立図書館 音声デイジー体験会
- 6月26日 大山町立図書館 ことばを育む会大山支部と共催
ハートフル図書&マルチメディアデイジー体験会
- 10月6日 鳥取市立中央図書館 みんなで絵本を楽しもう!2024(主催 らっきょうの花)
- 11月9日 湯梨浜町立図書館 図書館祭り デイジー体験会
- 12月10日 琴浦町図書館 聞く読書体験会
- 2月4日 大山町立図書館 点字・読書バリアフリー講演、体験会(予定)

・教育機関訪問・研修開催

- 7月24日 鳥取県立白兔養護学校訪問
マルチメディアデイジーCD 寄贈 デイジー図書について、学校司書に現状聞き取り
- 9月11日 倉吉市立河北小学校特別支援学級訪問
マルチメディアデイジーについて説明、機材貸出
- 11月14日 私立高等学校特別支援教育担当者研修会
- 1月7日 鳥取短期大学 体験型福祉研修会
マルチメディアデイジーについて説明

・療育、福祉、医療機関訪問

- 7月8日 国立病院機構松江医療センター療育指導室訪問(医療型障害児入所支援。
療養介護)
- 7月24日 国立病院機構鳥取医療センター療育指導室訪問(医療型障害児入所支援。
療養介護)

・支援団体訪問

- 4月30日 らっきょうの花 おしゃべりカフェ 訪問

・鳥取県立図書館 協力

- 11月20日 鳥取県身体障害者福祉大会(サピエ・デイジー紹介)
- 3月22日 令和6年度ロービジョンフォーラム in 鳥取(予定)

・その他

10月10日 全国視覚障害者情報提供施設協議会全国大会にて取組発表

1月12日 マルチメディアデイジー普及ミニフォーラム及び体験会
(米子コンベンションセンター)

ミニフォーラム

<基調講演>

特定非営利活動法人 支援技術開発機構

副理事長 河村 宏氏

<事例発表>

鳥取県教育委員会事務局 いじめ・不登校総合対策センター

LD等専門員 澤 勝也氏

松江市立島根小学校教諭 井上 賞子氏

NPO 法人全国LD親の会所属・鳥取

『困り感を抱える子を支援する親の会／らっきょうの花』会長 齊藤里依氏

・イベント会場での啓発

7月25日 福祉機器展(鳥取養護学校)

7月26日 福祉機器展(皆生養護学校)

8月19日 福祉教育体験会(倉吉市福祉教育推進連絡協議会)

・点訳・音訳スキルアップ研修

点訳:11月1日 点訳スキルアップ研修

講師:静岡県視覚障害者情報支援センター 黒崎 よし乃氏

県内ボランティア参加者数:22名

音訳:10月26日 音訳スキルアップ研修

講師:安田 知博氏

県内ボランティア参加者数:9名

・点訳・音訳ボランティア養成研修

新規ボランティア養成研修 ヴィレステ日吉津で開催(6/4~12/3)

今年度修了者

点訳 4名(内訳:4名未経験者)

講座終了後は地域の既存グループ加入

音訳 10名(内訳:2名既存グループ所属、未経験者8名)

地域の既存グループ加入:9名

1名 ボランティアは辞退

・マルチメディアデイジー図書製作人材の育成

・既存の音訳ボランティア(西部エリアボランティア)から数名に依頼

・必要機材 対応PC・ソフトの購入

・白兔養護学校より選書アドバイスを頂き、製作(ノラネコぐんだんシリーズ3冊)

鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画指標

区分	指標		参考		計画の期間				R7 (目標)
			R元	R2	R3	R4	R5	R6.12	
「視覚障がい者等による図書館の利用に係る体制の整備等」関連	県立図書館のアクセシブルな書籍等	所蔵冊数	15,379	15,676	17,428	17,674	17,995	18,349	18,500
		年間貸出冊数	18,987	18,033	19,047	16,541	16,858	14,683	28,000
	県立学校図書館、県立大学図書館のアクセシブルな書籍等	年間貸出冊数	233	280	313	351	465	-	500
	ライトハウス点字図書館のアクセシブルな書籍等	年間貸出冊数	11,004	9,960	11,279	8,014	9,408	5,238	13,200
	県立図書館の「はーとふるサービス」利用登録者数		66	67	70	79	99	106	120
	ライトハウス点字図書館の利用登録者数		327	328	335	346	348	360	400
「インターネットを利用したサービスの提供体制の強化」関連	サピエ会員(個人会員)の登録者数		80	79	77	83	88	100	150
	ライトハウス点字図書館、県立図書館及び特別支援学校の国会図書館障がい者等用データの送信承認の登録率		0%	10%	20%	20%	70%	90%	100%
「特定書籍・特定電子書籍等の製作の支援」関連	県内のアクセシブルな書籍等(点字図書、デイジー図書)のサピエ図書館への年間アップロード数		64	74	54	56	45	45	120
「端末機器等及びこれに関する情報の入手支援、情報通信技術の習得支援」関連	県立図書館のアクセシブルな書籍等を利用するための端末機器	貸出数	270	155	101	83	15	23	500
	ライトハウス点字図書館のアクセシブルな書籍等を利用するための端末機器	貸出数	6	16	25	26	16	20	60
「製作人材・図書館サービス人材の育成等」関連	点訳・音訳奉仕員(ボランティア)の数		213	221	231	242	242	255	310

読書バリアフリー推進に係る令和7年度取組計画

令和7年2月21日
鳥取県立図書館

1 関係機関・団体との連携

(1) 関係者協議会の実施(年4回)

- 第1回(5月) ・読書バリアフリー計画改訂の骨子案について
- 第2回(7月) ・令和6年度事業報告、令和7年度事業実施状況について
・読書バリアフリー計画改訂案について
- 第3回(10月) ・読書バリアフリー計画改訂案(意見等反映版)について
・パブリックコメント案の協議
- 第4回(2月) ・令和7年度事業実施状況、令和8年度事業計画について
・パブリックコメント報告
・読書バリアフリー計画改訂案(パブリックコメント反映版)について

(2) 関係機関訪問の実施

(3) 関係機関主催行事への出前図書館の実施

2 市町村立図書館・学校図書館等との連携

- (1) 障がい者サービス実務担当者連絡会、状況調査、訪問相談の実施
- (2) 啓発パネル貸出

3 研修・講座・イベント等の実施

- (1) 図書館職員、学校関係者対象：図書館業務専門講座
- (2) 特別支援学校対象：図書館活用講座
- (3) 県民対象：手話で楽しむおはなし会、バリアフリー映画上映会

4 はーとふるサービスの充実

- (1) アクセシブルな資料、機器等の充実
- (2) 動画(手話・字幕付図書館紹介)のQRコード付はーとふるサービスリーフレット作成

5 広報の強化

- (1) 学校・教育機関への周知(個別訪問や研修会・協議会での情報提供等)
- (2) 新聞、テレビ、ラジオ、SNS等を活用した広報の実施
- (3) 館内展示、出前図書館の実施
- (4) サービス紹介リーフレットの配布

6 アクセシブルな書籍等の製作に携わる人材確保や育成の促進

養成講習会の周知、製作に係る調査支援・資料提供等

7 研修・講座等への参加

障害者サービス担当職員養成講座(初級・中級)など

令和7年度視覚障がい者等の読書バリアフリー関連予算要求状況について

令和7年2月21日

障がい福祉課

令和7年度も県内の読書バリアフリー環境を促進していくため、引き続き以下の事業を実施する。

1 アクセシブルな書籍等の製作等による量的拡大

鳥取県ライトハウス点字図書館運営費を補助し、点字図書・雑誌・音声版図書の量的拡大を図る。

2 端末機器・ICT機器の使用等に係る研修会

<要求額 242 千円 (R6:242 千円)>

①視覚障がい者等向けに、ICT機器の使用等に関する研修を実施する(月1回程度)

②発達障がい等の当事者、支援者向けにマルチメディアデジターの使用等に関する研修を実施する
(各地区1回)

3 点訳・音訳ボランティア向けスキルアップ研修

<要求額:125 千円 (R6:125 千円)>

点訳・音訳ボランティア団体に所属する者を対象に、点訳・音訳技術向上のため、外部から講師を招聘し、スキルアップ講座を開催する。(点訳・音訳それぞれ1回ずつ開催予定)

4 点字指導員資格認定講習会及び音訳指導員認定講習会への派遣

<要求額:208 千円 (R6:208 千円)>

ライトハウス点字図書館の職員、点訳・音訳ボランティア活動に長年携わっている者を点字指導員資格認定講習会及び音訳指導員認定講習会へ派遣することで、県内の点訳・音訳奉仕員養成研修のレベルアップを図る。

なお、派遣事務はライトハウス点字図書館への委託を予定。

5 ライトハウス点字図書館への情報支援員の1名継続配置

<要求額:5,543 千円 (R6:5,114 千円)>

令和7年度も引き続きライトハウス点字図書館に読書バリアフリー基本計画の推進に総合的に取り組む情報支援員を1名配置し、読書バリアフリー法に関連する以下の業務を行う。(令和3年度～)

- ・県、市町村、関係団体等と連携した読書環境の整備に関する情報交換の実施
- ・アクセシブルな書籍等の充実に向けた県立図書館及び市町村立図書館等との連携
- ・学校図書館及び大学図書館と連携した視覚障がい等のある児童生徒学生の読書環境の保障に関する取組
- ・県立図書館及び市町村立図書館等と連携した、ICT機器を活用した視覚障がい者等への読書機会の提供
- ・端末機器・ICT機器の使用等に係る研修会
- ・点訳・音訳ボランティア向けスキルアップ研修

・点字指導員資格認定講習会及び音訳指導員認定講習会への派遣 等

6 マルチメディアデイジー図書普及啓発等のための設備整備及び人材育成

<要求額:1,500 千円 (R6:1,500 千円)>

マルチメディアデイジー図書を閲覧するためのタブレットを整備し、研修・貸し出し等を行いマルチメディアデイジー普及啓発に努める。

また、図書作成のための機器を整備し、制作を行うとともに、制作ボランティアを養成する。

7 鳥取県視覚障がい者 ICT 機器購入費補助金

<要求額:800 千円 (R6:2,500 千円)>

視覚障がい者用タブレット、拡大読書器等の購入経費助成(補助率 1/2)する。

8 その他

県立図書館、鳥取県ライトハウス等とも連携し、県関連のイベント等において、読書バリアフリーに関する啓発を行う。

・ロービジョン相談窓口におけるつながるサロン、子どものための福祉機器展、あいサポート祭、ロービジョンフォーラム等

令和7年度読書バリアフリー環境整備推進事業について

令和7年2月21日

鳥取県ライトハウス点字書館

令和7年度 取組予定

これまで同様、(教育・福祉・医療)関係機関との連携・体制構築を目指し以下の取組を継続。

- ・公共図書館巡回・・・情報交換、協力体制の確認、催事等での住民への周知活動協力
次年度初回の図書館巡回は4月から5月中旬までに全19市町村図書館を実施予定
(昨年度から各視覚障がい者支援センターとも連携して巡回を実施)

イベント

- ・教育機関・療育機関・支援団体・福祉施設への訪問・・・普及啓発、協力依頼
- ・体験会、研修会等 随時開催・実施依頼対応
- ・個人利用者へのフォロー 利用状況把握など
- ・ボランティア
 - スキルアップ研修の開催
 - 新規音訳ボランティア養成研修の実施(東部で開催)
 - マルチメディアデイジー製作人材の育成
- ・マルチメディアデイジー普及ミニフォーラムの実施

機器の貸出し(施設・教育機関にお試し貸出)

- ・鳥取県立総合療育センター(入所児童及び外来受診児に使用)
- ・国立病院機構鳥取医療センター(重症心身障害児(者)に使用)
- ・倉吉市立河北小学校特別支援学級(在籍児童に使用)

利用対象者の拡大

- ・知的障がい者へのアプローチ
- ・高齢者へのアプローチ

【取組のポイント・目標】

- ・利用当事者の方へのアプローチ
 - 利用対象者が参加するイベントなどに参加
- ・県民全体に対するアプローチ
 - 「アクセシブルな図書が図書館で借りられる」ことの周知
- ・マルチメディアデイジー図書普及・周知
- ・利用当事者への小・中・高・大学等の高等教育進学の際、切れ目のない継続的な支援が出来るよう(情報提供含めて)取り組む。

鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画の改訂について

令和7年2月21日

鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画については、5年間の計画期間が令和7年度末に終了するため、令和8年度からの新たな計画期間に向けて改訂を行う必要がある。
 ついては、計画改訂の方針(案)や全体構成(案)について、委員の皆様から御意見を伺いたい。

「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」

- ・「視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する法律」第8条第1項の規定に基づき、鳥取県における視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画について定めたもの。全国に先駆けて令和3年3月に策定。(知事部局(障がい福祉課)と教育委員会(図書館)との共管)
- ・計画の期間は令和3年度から令和7年度までの5カ年。

1 見直しの方針

計画策定後の5年間の取組の状況やそれらを踏まえた関係者等の意見、国の計画改訂(令和7年度～)の内容を踏まえた改訂を行う。

2 全体構成

3つの基本的な方針から具体的な取組につながっていく階層的な構造に変更し、わかりやすくする。

※ 詳細は別紙のとおり

3 今後のスケジュール

- R7. 2 ・定例教育委員会において委員協議
 ・第3回読書バリアフリー協議会：改訂方針、次期計画の基本方針・構成について協議

- R7. 5 ・第1回読書バリアフリー協議会：次期計画の骨子案について協議
 R7. 6 ・6月定例教育委員会：次期計画の骨子案について協議
 R7. 7 ・第2回読書バリアフリー協議会：次期計画の改定案について協議
 R7. 8 ・8月定例教育委員会：次期計画の改定案について協議
 R7.10 ・第3回読書バリアフリー協議会：改定案(意見反映版)、パブコメ案について協議
 R7.11 ・11月定例教育委員会・常任委員会：改定案(意見反映版)、パブコメ案について協議
 R7.12 ・パブコメ実施
 R8. 2 ・第4回読書バリアフリー協議会：パブコメ報告、改訂案(パブコメ反映版)について
 ・2月定例教育委員会・常任委員会：パブコメ報告、改訂案(パブコメ反映版)について
 ⇒知事・教育長の決裁を経て、計画改訂(第2次計画策定)の公表

- R8. 4 ・4月定例教育委員会・常任委員会：計画改訂(第2次計画策定)の報告

鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画 第2期構成(目次)案

令和7年1月22日

※ 「・」は、予定している主な記載内容

1 計画の基本的事項

- (1) 計画の位置付け
 - ・策定の背景とこれまでの経緯
 - ・「鳥取県障がい者プラン」等との関係
 - ・「読書バリアフリー法」等との関係(第8条第1項)
- (2) 計画の対象
 - ・国の計画を参考にして対象を記載
- (3) 計画の期間
 - ・令和8年度から令和12年度まで(5年間)

2 鳥取県の現状と課題

- (1) これまでの取組と計画の進捗状況
 - ・利用状況や聞き取り等
 - ・第1期最終評価の内容
- (2) 取り巻く環境の変化(※1期以降の変化)
 - ・GIGAスクール構想の進展に伴う教育現場のICT環境の整備
 - ・障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の公布・施行(令和4年5月)
 - ・障害者差別解消法の完全施行(令和6年4月。民間企業における合理的配慮の提供の義務化)
 - ・スマートフォン等情報機器端末の普及
- (3) 課題

3 基本的な方針等

(1) 目指す姿

全県的な読書バリアフリーの推進により、居住地域や障がいの有無に関わらず、すべての県民が文字・活字文化の恩恵を享受できる。(=どこでも・誰でも・読書バリアフリーサービスを受けられる)

(2) 基本的な方針

- ① アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上
つくる・ふやす・あつめる [コンテンツ]
- ② アクセシブルな書籍等の普及及びアクセシブルな書籍の継続的な提供
とどける・つなげる・ひろめる [サービス]
- ③ 視覚障がい者等の障がいの種類・程度に応じた配慮
それぞれに合った [支援]

4 施策の方向性

(1) アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上 【つくる・ふやす・あつめる [コンテンツ】】

- ①アクセシブルな書籍等の製作人材の養成
 - ・製作人材の養成・研修・確保
 - ・製作人材の確保とネットワーク化
- ②アクセシブルな書籍等の製作と製作支援
 - ・障がいに合わせてニーズの把握
 - ・製作手順やノウハウの共有
 - ・アクセシブルな書籍等の製作
- ③アクセシブルな書籍等の収集
 - ・書籍等の出版情報の収集・共有
 - ・出版社と連携した郷土資料の収集

(2) アクセシブルな書籍等の普及と継続的な提供 【とどける・つなげる・ひろめる [サービス】】

- ①県立図書館の体制整備・サービスの充実
 - ・県立図書館職員の養成・研修
 - ・アクセシブルな書籍、読書支援機器の提供
- ②アクセシブルな書籍等の利用の支援
 - ・書籍等利用のための操作スキル習得支援
 - ・端末機器等の情報提供
- ③非来館型サービスの充実
 - ・視覚障がい者等の利用できる電子書籍等のサービス(国立国会図書館・サピエ等)の普及
- ④市町村立図書館等のサービスの充実
 - ・市町村立図書館における取組の支援
- ⑤学校の読書バリアフリーサービスの充実
 - ・児童生徒、教職員への周知・啓発、学校図書館等との連携
 - ・各市町村教育委員会への周知・啓発

(3) 視覚障がい者等の障がいの種類・程度に応じた配慮 【それぞれに合った [支援】】

- ①意見やニーズの把握
 - ・関係機関との連携の促進
 - ・各種福祉サービス等の情報提供
- ②ニーズに合わせたサービスの提供
 - 視覚障がい： ■肢体不自由： ■盲ろう： ■重症心身障がい：
 - 聴覚障がい： ■知的障がい：
 - 学習障がい：マルチメディアデジターの普及等
 - 高齢者：大活字図書、音声デジター及びサピエの普及等

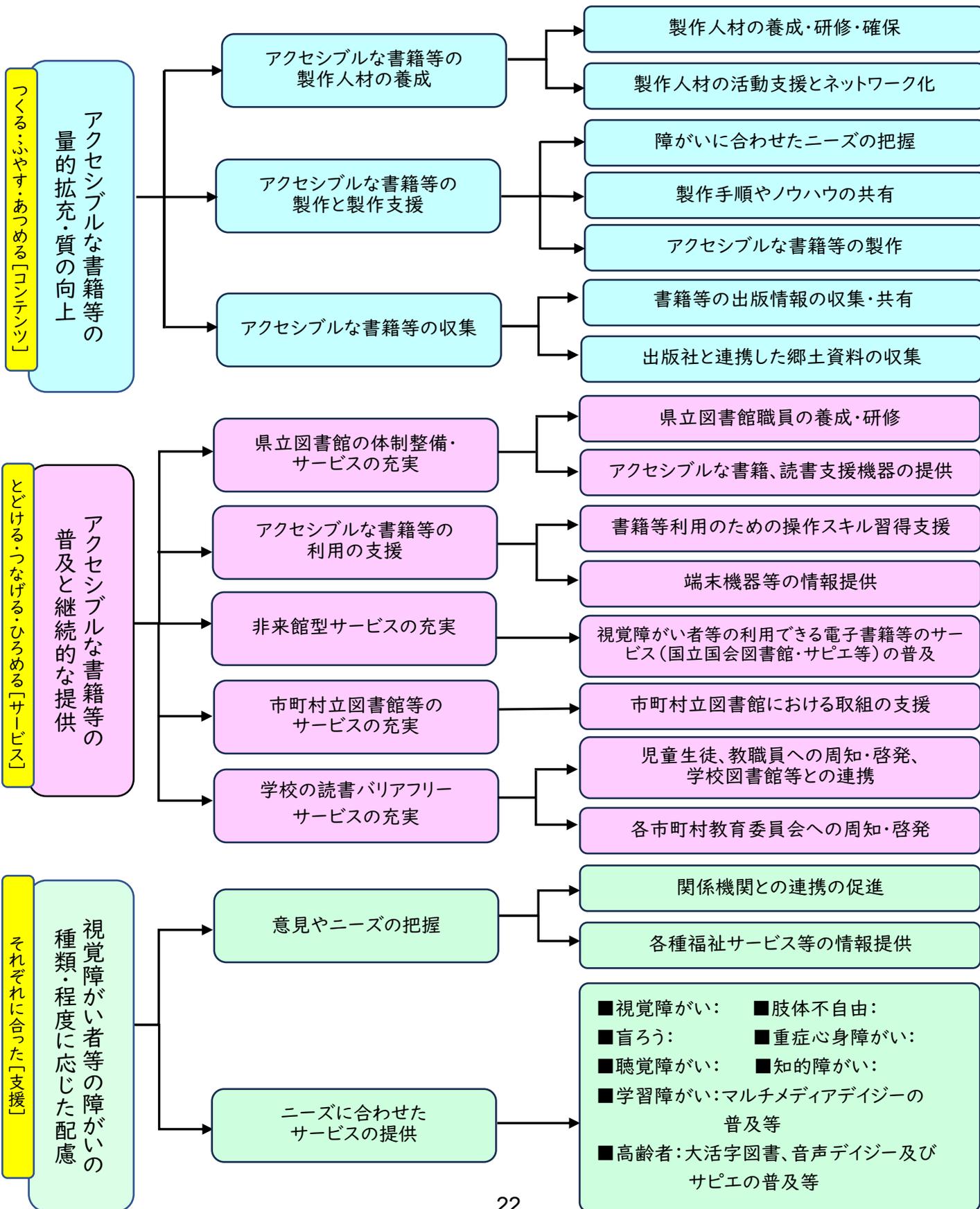
5 指標

6 用語集

いつでも・だれでも・どこでも

全県的な読書バリアフリーの推進により、居住地域や障がいの有無に関わらず、すべての県民が文字・活字文化の恩恵を享受できる。

(=どこでも・誰でも・読書バリアフリーサービスを受けられる)



鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画 第1期・第2期対照表

第1期計画	第2期計画(案)
1 はじめに	1 計画の基本的事項
(1) 計画の趣旨 (2) 計画の位置付け (3) 計画の期間 (4) 計画の対象 (5) 視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に係る意義と課題 (6) 本計画の周知及び啓発 (7) 計画の推進体制	(1) 計画の位置付け ・策定の背景とこれまでの経緯 ・「鳥取県障がい者プラン」等との関係 ・「読書バリアフリー法」等との関係(第8条第1項) (2) 計画の対象 ・国の計画を参考にして対象を記載 (3) 計画の期間 ・令和8年度から令和12年度まで(5年間)
	2 鳥取県の現状と課題
	(1) これまでの取組と計画の進捗状況 ・利用状況や聞き取り等 ・第1期最終評価の内容 (2) 取り巻く環境の変化(※1期以降の変化) ・GIGA スクール構想の進展に伴う教育現場のICT環境の整備 ・障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の公布・施行(令和4年5月) ・障害者差別解消法の完全施行(令和6年4月。民間企業における合理的配慮の提供の義務化) ・スマートフォン等情報機器端末の普及 (3) 課題
2 基本的な方針	3 基本的な方針等
(1) アクセシブルな電子書籍等の普及及びアクセシブルな書籍の継続的な提供 (2) アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上 (3) 視覚障がい者等の障がいの種類・程度に応じた配慮	(1) 目指す姿 全県的な読書バリアフリーの推進により、居住地域や障がいの有無に関わらず、すべての県民が文字・活字文化の恩恵を享受できる。(=どこでも・誰でも・読書バリアフリーサービスを受けられる) (2) 基本的な方針 ①アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上 つくる・ふやす・あつめる [コンテンツ] ②アクセシブルな書籍等の普及及びアクセシブルな書籍の継続的な提供 とどける・つなげる・ひろめる [サービス] ③視覚障がい者等の障がいの種類・程度に応じた配慮 それぞれに合った [支援]

第1期計画	第2期計画(案)
<p>3 施策の方向性</p> <p>(1) 視覚障がい者等による図書館の利用に係る体制の整備等</p> <p>① アクセシブルな書籍等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出版情報の共有等、県内図書館、関係団体等との連携によるアクセシブルな書籍等の充実 ・ライトハウス点字図書館の製作によるアクセシブルな書籍等の充実 <p>② 円滑な利用のための支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者等が身近にある図書館を円滑に利用できる環境づくり ・県民・市町村立図書館等への読書バリアフリー情報の周知 ・県立図書館の読書バリアフリー関連サービスの充実 ・学校図書館での支援の充実に向けた教職員研修と体制整備 ・視覚障がい等のある児童・生徒・学生の読書環境の保障 ・ライトハウス点字図書館による読書機会の提供と利用支援 ・県立・市町村立図書館等へのライトハウス点字図書館のノウハウ普及とサービス実施環境の整備 	<p>4 施策の方向性</p> <p>(1) アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上 【つくる・ふやす・あつめる [コンテンツ]】</p> <p>① アクセシブルな書籍等の製作人材の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作人材の養成・研修・確保 ・製作人材の確保とネットワーク化 <p>② アクセシブルな書籍等の製作と製作支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいに合わせたニーズの把握 ・製作手順やノウハウの共有 ・アクセシブルな書籍等の製作 <p>③ アクセシブルな書籍等の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍等の出版情報の収集・共有 ・出版社と連携した郷土資料の収集 <p>(2) アクセシブルな書籍等の普及と継続的な提供 【とどける・つなげる・ひろめる [サービス]】</p> <p>① 県立図書館の体制整備・サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館職員の養成・研修 ・アクセシブルな書籍、読書支援機器の提供 <p>② アクセシブルな書籍等の利用の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍等利用のための操作スキル習得支援 ・端末機器等の情報提供 <p>③ 非来館型サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者等の利用できる電子書籍等のサービス(国会図書館・サピエ等)の普及 <p>④ 市町村立図書館等のサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館における取組の支援 <p>⑤ 学校の読書バリアフリーサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、教職員への周知・啓発、学校図書館等との連携 ・各市町村教育委員会への周知・啓発 <p>(3) 視覚障がい者等の障がいの種類・程度に応じた配慮 【それぞれに合った [支援]】</p> <p>① 意見やニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携の促進 ・各種福祉サービス等の情報提供 <p>② ニーズに合わせたサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 視覚障がい: ■ 肢体不自由: ■ 盲ろう: ■ 重症心身障がい: ■ 聴覚障がい: ■ 知的障がい: ■ 学習障がい: マルチメディアデイジーの普及等 ■ 高齢者: 大活字図書、音声デイジー及びサピエの普及等
<p>4 指標</p>	<p>5 指標</p>
<p>5 用語集</p>	<p>6 用語集</p>